

HiKOKI

取扱説明書

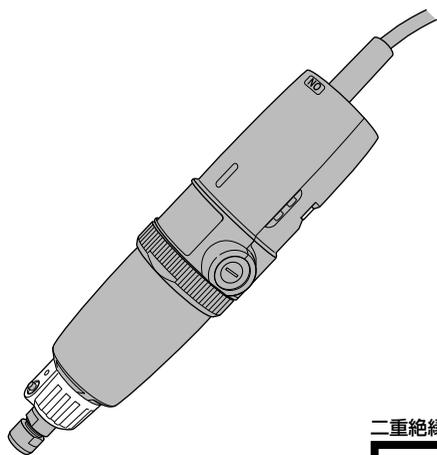
用途

- プレス押型、抜型、ダイカスト型、モールド型などの仕上げ研削作業
- ダイス、カッタ、工具類その他小形部品の仕上げ研削作業
- 陶磁器、タイル、合成樹脂などのバリ取り、仕上げ研削作業

スーパーミラー 電子ハンドグラインダ

18 mm GP 2V (SC)

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書を良くお読みになり、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。



二重絶縁



本製品は日本国内用のため、日本国外で販売または使用することはできません。日本国外で使用した場合は、仕様上の性能を発揮できない恐れがあります。日本国外では、修理または保証を受けられません。

This product may be used only in Japan and should not be sold or used in any other country. Otherwise, product may not perform as intended. No authorized service or warranty is available outside of Japan.

はじめに

電動工具の安全上のご注意……………	1
二重絶縁について……………	5
本製品の使用上のご注意……………	5
各部の名称……………	7
仕様……………	7
標準付属品……………	8
別売部品……………	8

使い方

ご使用前の準備と確認……………	9
スイッチについて……………	10
トイシについて……………	10
トイシの取付け・交換……………	11
研削する……………	13
トイシの目立てについて……………	14

その他

保守・点検……………	15
ご修理のときは……………	裏表紙

⚠警告、⚠注意、注 の意味について

⚠警告 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

注 : 製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。

なお、**⚠注意**に記載した事項でも、状況によっては重大な事故に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

電動工具の安全上のご注意

⚠警告

感電、火災、重傷を招く事故を未然に防ぐため、ご使用前にこの「取扱説明書」を良くお読みになり、正しく安全にお使いください。

なお、文中の「電動工具」とは、電源式(コード付き)電動工具を示します。

作業場の安全性

- ① 作業場は整理整頓して、十分な照明を確保してください。
散らかった暗い場所や作業台は、事故を招く恐れがあります。
- ② 爆発を誘引することがある可燃性の液体やガス、または粉じんがある所で電動工具を使用しないでください。
電動工具から発生する火花が発火の原因になります。
- ③ 電動工具の使用中は、子供や第三者を近づけないでください。
注意が散漫になり、操作に集中できなくなる場合があります。

電気に関わる安全性

- ① 電動工具の電源プラグに合ったコンセントを使用してください。電源プラグを改造しないでください。また、アダプタプラグをアース(接地)された電動工具と一緒に使用しないでください。
改造していない電源プラグおよび、それに対応するコンセントを使用すれば、感電のリスクは軽減されます。
- ② 電動工具の使用中は、金属製のパイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などアース(接地)されている物に体を接触させないようにしてください。
体が触れた場合、感電のリスクを増大させます。

⚠ 警告

屋外で使用する際には、③～⑤の注意が必要です。

- ③ **電動工具は、雨または湿気がある状態にさらさないでください。**
電動工具に水が入ると、感電のリスクが増大します。
- ④ **コードを乱暴に扱わないでください。**
 - 電動工具を移動させたり、引いたり、または電源プラグを抜くためにコードを利用しないでください。
 - コードは、熱、油、角のつがった所、または動く物からはなしておいてください。コードが損傷したり、絡まったりすると、感電のリスクが増大します。
- ⑤ **屋外使用に合った延長コードを使用してください。**
屋外使用に適したコードを使用すれば、感電のリスクは軽減されます。

人への安全性

- ① **電動工具の使用中は、油断をせず、常識を働かせ、いま自分が何をしているかに注意して作業してください。**
疲れていたり、アルコールまたは医薬品を飲んでいるときは使用しないでください。一瞬の不注意で、深刻な傷害を招く場合があります。
- ② **安全保護具を使用してください。**
 - 作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
 - 滑り防止安全靴やヘルメット、耳栓やイヤマフなどの安全保護具を使用することで、傷害のリスクが軽減されます。
- ③ **不意な始動を避けるため、電源プラグをコンセントにさし込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。**
スイッチに指を掛けて運んだり、スイッチが入っている電動工具の電源プラグをさし込むと、不意に始動し事故を招く恐れがあります。
- ④ **電動工具の電源を入れる前に、調整キーまたはレンチをはずしてください。**
工具の回転部分にレンチまたはキーを付けたままにしておくと、傷害を招く恐れがあります。
- ⑤ **無理な姿勢で作業をしないでください。**
常に適切な足場とバランスを維持することで、予期しない状況でも電動工具をより適切に操作することができます。
- ⑥ **きちんとした服装で作業してください。**
 - だぶだぶの衣服や装飾品は着用しないでください。
 - 髪や衣服、および手袋を回転部に近づけないでください。回転部に巻き込まれる恐れがあります。
- ⑦ **集じん装置が接続できる物は、適切に使用してください。**
粉じんによる人体への悪影響を軽減することができます。

警告

電動工具の使用および手入れ

- ① 無理に使用せず、用途に合った電動工具を使用してください。
用途に合った電動工具を使うことでより良く、安全な作業が行えます。
- ② スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は事故を招く恐れがあるので、使用せず修理を依頼してください。
- ③ 誤作動防止のため、次の作業前は電動工具のスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
 - 準備や調整・修理。
 - 付属品や別売部品の交換。
 - 保守・点検や保管。
 - その他、危険が予想される場合。このような安全対策によって電動工具を誤って始動させるリスクが軽減されます。
- ④ 使用しない電動工具は、子供の手の届かない所に保管し、電動工具に不慣れな者や取扱説明書を読んでいない者には電動工具を使用させないでください。
電動工具を扱い慣れていない者に渡すと事故の原因となります。
- ⑤ 電動工具の保守・点検を適切に行ってください。
 - 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
 - 異常がある場合は、使用する前に電動工具の修理を行ってください。電動工具の保守が不十分であることが、事故の原因となります。
- ⑥ 先端工具は、鋭利かつ清潔に保ってください。
先端工具を適切に手入れし、先端を鋭利に整えておくことで、作業を円滑にし操作が容易になります。
- ⑦ 電動工具、付属品、アタッチメント、先端工具などは、作業条件や、実際の作業を考慮し、取扱説明書に従って適切に使用してください。
取扱説明書に書かれていない使用方法で作業すると、傷害を招く恐れがあります。
- ⑧ 電動工具は異常な高温、または低温の場所で使用すると能力を十分発揮できません。

整備

- ① 電動工具の修理は、修理専門要員が純正交換部品だけを用いて行ってください。
これにより電動工具の安全性を維持することができます。

その他の項目

- ① 取扱説明書はお読みになった後も、使用する方がいつでも見られる所に大切に保管し、利用してください。
他の人に電動工具を貸し出す際は、取扱説明書も一緒にお渡しください。

⚠ 警告

② 加工する物をしっかりと固定してください。

加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。
手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。

③ 作業前に確認してください。

- 長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。
- 巻き込まれる恐れのある手袋はしないでください。
- 安全に責任を負う人の監視または指示がないかぎり、補助を必要とする人が単独で使用しないでください。
- 保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また、所定の機能を発揮するか確認してください。
- コードや延長コードは事前に点検し、損傷している場合には修理・交換してください。
- 屋外で延長コードを使用する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルを使用してください。

④ 電動工具は取扱説明書に従い、正しく使用してください。

- 小形の電動工具やアタッチメントは、大形の電動工具で行う作業には使用しないでください。
- 安全に能率良く作業するために、電動工具の能力に合った負荷で作業してください。
- 電動工具は指定された用途以外に使用しないでください。

⑤ 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

この取扱説明書、および弊社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメント以外の物を使用しないでください。

⑥ メンテナンスをきちんと行ってください。

- 握り部は、常に乾かしてきれいな状態を保ち、油やグリースが付かないようにしてください。
- 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に依頼してください。
- この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 損傷した電動工具や、付属品の修理や部品交換は、お買い求めの販売店に依頼してください。ご自身で修理すると、事故の原因になります。

二重絶縁について

二重絶縁とは、電気が流れる部分と手に触れる外枠部品との間が、異なる二つの絶縁物で絶縁されている構造のことです。たとえ一つの絶縁物がこわれても、もう一つの絶縁物で保護されるため感電しにくい構造です。

お求めの製品は二重絶縁構造であり、銘板に  マークで表示してあります。純正品以外の部品と交換したり、間違っ て組み立てたりすると二重絶縁構造でなくなります。電気系統の修理や部品の交換はお買い求めの販売店に依頼してください。

本製品の使用上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、電子ハンドグラインダについて、次に述べる注意事項を守ってください。

警告

- ① 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
表示を超える電圧で使用すると、速度が異常に速くなり、けがの原因になります。
- ② 直流電源、昇圧器などのトランス類で使用しないでください。
製品の損傷を生じるだけでなく、事故の原因になります。
- ③ 使用するトイシ(ビトリファイドトイシ)は、外径 18 mm 以下の軸付トイシを取付け、正しい使用面で研削してください。
正規以外のトイシを使用すると、トイシが破壊し、けがの原因になります。
- ④ トイシにヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。
異常があると、トイシが破壊し、けがの原因になります。
- ⑤ 使用中は、振り回されないよう機体を確実に保持してください。特に始動時は気を付けてください。
- ⑥ 水、研削液などは使用しないでください。
乾式用のため、トイシの破壊によるけがや感電の恐れがあります。
- ⑦ 機体を万力などで保持した使い方はしないでください。
トイシが破壊したとき、けがの原因になります。
- ⑧ 使用中は、回転部に手や顔などを近づけないでください。
- ⑨ 研削粉は火花となって飛散するので、引火しやすい物、傷付きやすい物は安全な場所に遠ざけてください。また、研削火花を直接手足などに当てないようにしてください。
- ⑩ 回転させたまま、台や床などに放置しないでください。

⚠ 警告

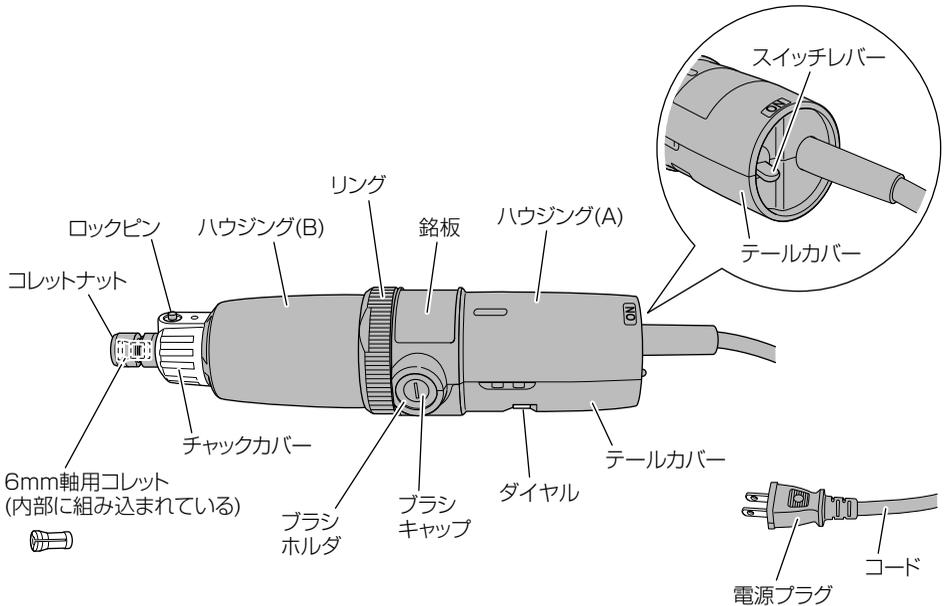
- ⑪ 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音、異常振動がしたりするときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。
- ⑫ 誤って落としたり、衝撃が加わったりしたときは、トイシや機体などに破損や亀裂、変形がないことを点検してください。
- ⑬ 【事業者の方へ】
トイシの取り替え・試運転は、法・規則で定める特別教育を受けた人に行わせてください。

関連法令	労働安全衛生法	第59条
	労働安全衛生規則	第36条
	安全衛生特別教育規程	第2条

⚠ 注意

- ① 工具類（トイシなど）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
- ② 新しいトイシを取付け、はじめてスイッチを入れるときは、トイシの露出部から一時、体を避けてください。
- ③ 試運転を励行してください。
試運転は、トイシ交換後は3分間以上、その日の作業始め前は1分間以上行ってください。
試運転せずに作業開始すると、思わぬけがの原因になります。
- ④ 高所作業のときは、下に人がいないことを確かめてください。
また、コードを引っ掛けたりしないでください。
- ⑤ 無理に押し付けて、回転数が大幅に低下するような力をかけることはしないでください。
作業能率を低下させるだけでなく、トイシ軸が変形して、けがの原因になります。

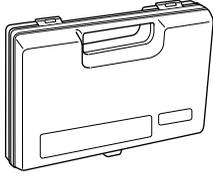
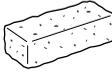
各部の名称



仕様

形 名	GP2V
使 用 電 源	単相交流 50/60 Hz 共用 電圧 100 V
モ ー タ ー	単相直巻整流子モーター
全 負 荷 電 流	1.5 A
消 費 電 力	145 W
無 負 荷 回 転 数	15,000 ~ 30,000 min ⁻¹ {回/分}
ト イ シ 寸 法	外径 18 mm 以下 軸径 6 mm または 3 mm
質量(コードを除く)	0.9 kg
コ ー ド	2心キャブタイヤケーブル 2.5 m

標準付属品

コレット 6 mm 軸用 (本体装着) 3 mm 軸用 	各 1 個	ケース 	1 個
コレットナット (本体装着) 	1 個		
片口スパナ 	1 個	ドレッサー 	1 個

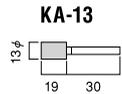
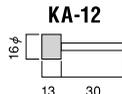
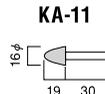
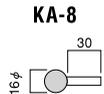
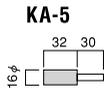
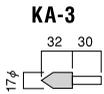
別売部品 (別売部品は生産を打ち切る場合がありますので、ご了承ください。)

用途に応じた別売部品をご使用いただくことで、いろいろな作業にご利用できます。詳しくは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

注 軸付トイシは、ステンレス材での高速回転の研磨作業に適していません。

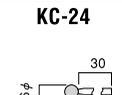
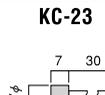
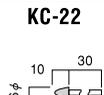
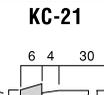
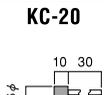
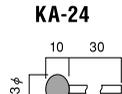
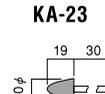
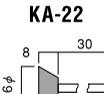
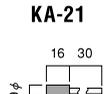
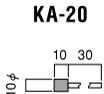
● 6 mm 用軸付トイシ 粒度 (WA60P)

(単位: mm)



● 3 mm 用軸付トイシ 粒度 (WA80P)

(単位: mm)



● コレット※

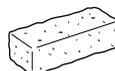
6 mm 軸用
3 mm 軸用



● コレットナット※



● ドレッサー※



※ 標準付属品と同じ物です

ご使用前の準備と確認

●作業環境の整備

薄い鋼板などを研削する場合には、作業台の状況によっては研削音が鋼板に反響して大きな騒音が出る場合があります。このような場合には、鋼板の下にゴムシートを敷くなどして騒音を出さない配慮が必要です。

○騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。ご近所に迷惑をかけないように、規制値以下でご使用になることが必要です。状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

●漏電しゃ断器の設置をお勧めします

本製品は二重絶縁構造のため、法令により漏電しゃ断器の設置は免除されています。しかし、万一の感電を防止するためにも漏電しゃ断器が設置されている電源に接続することをお勧めします。

●延長コードを使う場合

電気が流れるのに十分な太さの、できるだけ短いコードを使用してください。

右表は使用できるコードの太さと、最大長さの目安です。

これ以上長いコードを使用すると、電流が十分流れず製品の能率が落ち、故障の原因になります。

コードの太さ (mm ²) (導体公称断面積)	最大の長さ (m)
0.75	20
1.25	30
2	50

●使用電源の確認

- 銘板に表示してある電源で使用してください。

表示を超える電圧で使用するとモーターの回転数が異常に速くなり、機体が破損する恐れがあります。

- 直流電源、昇圧器などのトランス類で使用しないでください。

製品の損傷を生じるだけでなく、事故の原因になります。

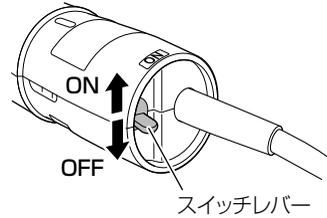
●コンセントの確認

コンセントがガタつく、または抜けやすいコンセントは修理が必要です。

修理には電気工事士の資格が必要ですので、お近くの電気工事店などに相談してください。そのままお使いになりますと、過熱して事故の原因になります。

スイッチについて

スイッチはスイッチレバーをON(入)側に倒すと入り、OFF(切)側に倒すと切れます。



トイシについて

被研削物の材質によって使用するトイシの種類が変わります。研削用途に適したトイシをお選びください。

以下に被研削物の材質とトイシの目安を示します。

被 研 削 材 の 材 質	と 粒	粒 度	結 合 度	結 合 剤
軟 鋼、 硬 鋼、 鍛 造 鋼	WA	60 ~ 80	P	V
鑄 鉄	C	36	M ~ O	V
黄銅、青銅、アルミニウム	C	36	J ~ K	V
陶 磁 器	WA	60 ~ 80	M	V
合 成 樹 脂	C	36	K ~ M	V

小さな面の研削作業は、3 mm 用軸付トイシを使用してください。

コレットは付属の3 mm 軸用を使用してください。

軸付トイシの寸法は、P.8「別売部品」を参照してください。

トイシの取付け・交換

梱包時は 6 mm 軸付トイシ用のコレットが機体に装着されています。3 mm 軸付トイシを使用する場合は、P.12「コレットの交換」でコレットを 3 mm 軸用に交換してからトイシを取付けてください。

⚠注意

コレットナットは、付属のスパナを使ってしっかりと締付けてください。

トイシの取付け

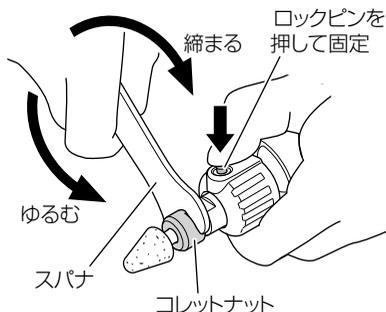
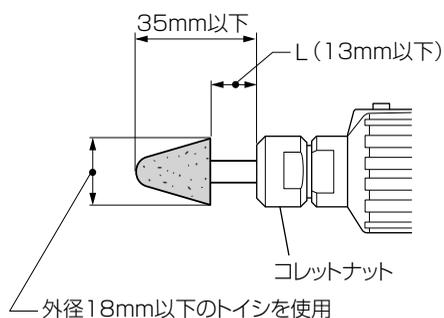
- 1** トイシは外径 18 mm 以下、軸の長さは 30 mm の物を使用してください。

トイシを取付ける場合は、コレットナットの先端からトイシの先端部までの寸法が 35 mm 以下、L 寸法が 13 mm 以下になるようにしてください。

長く出しすぎますと振動が大きくなり、機体に悪影響を与えるばかりでなく、思わぬ事故を招くことがあります。

- 2** ロックピンを押して、スピンドル軸を固定し、コレットナットをスパナで締付けます。

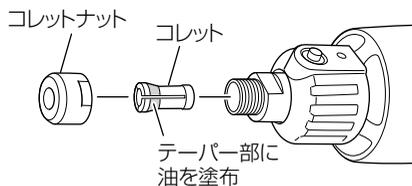
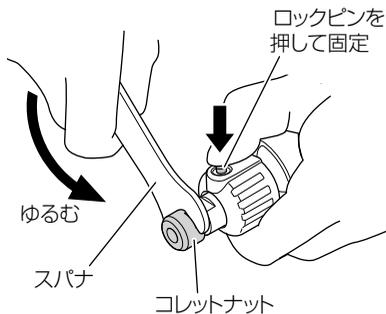
注 ロックピンを押してはなしたときに、確実に戻ることを確認してください。



コレットの交換

コレットを交換する場合は、トイシの取付けと同様にロックピンを押して、スパナでコレットナットをゆるめ交換してください。

- 注**
- 正規の軸径より細い軸を入れたり、何も入れない状態でコレットナットを締付けたりしないでください。コレットチャックの精度を悪くし、また破損の原因になります。
 - トイシを取付ける場合は、テーパ部にスピンドル油、またはミシン油を少量塗布してからコレットナットを締めてください。



研削する

- プレス押型、抜型、ダイカスト型、モールド型などの仕上げ研削作業
- ダイス、カッタ、工具類その他小形部品の仕上げ研削作業
- 陶磁器、タイル、合成樹脂などのバリ取り、仕上げ研削作業

警告

機体に衝撃をかけるとトイシにヒビが入ったり、割れたりする恐れがあるので、取扱いには十分注意してください。

誤って落としたり、衝撃が加わったりしたときは、トイシのヒビ割れや、機体に破損などがないことを十分確認してください。

1 スイッチが切れていることを確認する

(P.10「スイッチについて」参照)

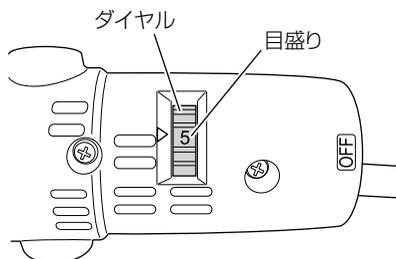
2 トイシを点検する

- トイシは正規のモノか、またヒビや割れがないか調べてください。
- トイシは正規の状態に取付けられ、しっかりと締付けられているか点検してください。

3 回転数を調整する

トイシの回転数を毎分 15,000 ~ 30,000 回転まで無段階に調整できる電子回路を内蔵しています。ダイヤルの目盛り「1」が最低速で、目盛り「5」が最高速です。

ダイヤルの調整により、トイシ、被削材料、作業条件に合った回転数で使用してください。



注 低速での長時間の連続作業や、研削中にトイシが停止するような使い方はしないでください。

モーターに無理がかかり、故障の原因になります。

4 電源プラグをコンセントにさし込む

5 試運転を行う

- 異常音、異常振動がしたときは、直ちにスイッチを切ってトイシの取付けやヒビ、割れを点検してください。
- 作業前には人のいない方向にトイシを向け、必ず試運転を行って異常がないことを確認してください。

試運転時間は
トイシ交換のとき ……………3 分間以上
その日の作業始めのとき …1 分間以上

注 トイシは材料に強く押し付けしないでください。

研削中はトイシを軽く被削材に当てて、高い回転数を保持してください。無理に押し付けるとトイシ軸が曲がることもあり、仕上がり品質の低下や故障の原因になります。

6 材料にトイシを当てる

使用するトイシで指定されている正しい使用面で研削してください。

注 回転中には、ロックピンを押さしないでください。またロックピンを押したままでスイッチを入れないでください。

7 作業を終了する

使用後はスイッチを切って、トイシの回転が止まってから機体を置いてください。

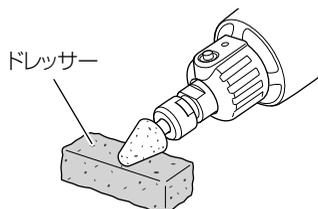
回転が止まらないうちに切粉やごみの多い場所に置くと、切粉やごみを吸い込むことがあります。

機体の寿命低下、事故の原因になりますので注意してください。

トイシの目立てについて

トイシを取付けた後、ドレッサーを当てトイシの中心軸の狂いを直してお使いください。トイシが偏心していると、精密な仕上げができないばかりでなく、機械の振動が大きくなり、精度や寿命の低下の原因になります。

目詰まり、目潰れしたトイシは、研削能率や仕上がり品質を低下させます。定期的にドレッサーを当て、ドレッシングしてお使いください。



保守・点検

● ブレードの点検

各ブレードの切れ味が悪くなったまま使用すると、モーターに無理をかけることになり、また能率も落ちますので早めに新品と交換してください。

● 機体の点検

各部部品の取付けに、ガタつきやゆるみがないか定期的に点検してください。ゆるんだまま使用すると、けがなど事故の原因になります。異常がある場合は、お買い求めの販売店に相談してください。

● モーターの取扱いについて

モーター（内蔵）(P.7「各部の名称」参照)に、油や水が浸入しないよう十分に注意してください。

注 ごみやほこりを排出するため、定期的に、モーターを無負荷運転させて、湿気のない空気をハウジング後方の風穴から吹き込んでください。
モーター内部にごみやほこりがたまると、故障の原因になります。

● 清掃する

機体が汚れたときは、石けん水に浸した布を良く絞ってからふいてください。ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類はプラスチックを溶かす作用があるので使用しないでください。

● 機体や付属品の保管

下記のような場所は避け、温度が50℃未満で乾燥した安全な場所に保管してください。

- 注**
- お子様の手が届く場所、持ち出せる場所
 - 軒先など雨が掛かる場所、湿気のある場所
 - 温度が急変する場所、直射日光の当たる場所
 - 引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所

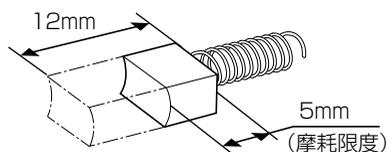
●カーボンブラシの点検

モーター部には、消耗品であるカーボンブラシを使用しております。カーボンブラシの摩耗が大きくなりますと、モーターの故障の原因となりますので、長さが摩耗限度(5 mmぐらい)になりましたら新品と交換してください。

また、カーボンブラシはごみなどを取り除いてきれいにし、ブラシホルダ内で自由に滑るようにしてください。

カーボンブラシは、マイナスドライバーなどでブラシキャップ(P.7「各部の名称」参照)をはずすと取り出せます。

注 新品のカーボンブラシと交換の際は、弊社指定のカーボンブラシを使用してください。



メ 毛

ご修理のときは

修理・お手入れ・お取扱いのご相談は、まずお買い求めの販売店にご依頼ください。
転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認のうえ、お近くの営業拠点へ
お問い合わせください。

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号 (NO.) などを下欄にメモしておく、修理
を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年	月	日	製造番号 (NO.)
販売店 (TEL)				

全国営業拠点

お客様相談センター ※土・日・祝日・弊社休業日を除く 9:00～12:00, 13:00～17:00	
●フリーダイヤル  0120-20-8822	※携帯電話からはご利用になれません。 携帯電話からはお近くの営業拠点にお問い合わせください。 ※長くお待たせする場合があります。 お急ぎのときは、お近くの営業拠点に直接お問い合わせください。

●営業本部 TEL (03) 5783-0626	●北陸支店 TEL (076) 263-4311
●北海道支店 TEL (011) 786-5122	●関西支店 TEL (0798) 37-2665
●東北支店 TEL (022) 288-8676	●中国支店 TEL (082) 504-8282
●関東支店 TEL (03) 6738-0872	●四国支店 TEL (087) 863-6761
●中部支店 TEL (052) 533-0231	●九州支店 TEL (092) 621-5772

■営業所の移転等により、上記電話番号に連絡がとれない場合は、
下記のアドレスにアクセスすることで、最新の全国営業拠点
をご確認いただけます。

<https://www.hikoki-powertools.jp/relation/sales.html>



バーコードリーダー機能付きの
携帯端末より読み取ることで、
最新の全国営業拠点をご確認
いただけます。



工機ホールディングス株式会社

〒108-6020 東京都港区港南2丁目15番1号 (品川インターシティA棟)
営業本部 TEL (03) 5783-0626 (代)

電動工具ホームページ — <https://www.hikoki-powertools.jp>